

# 伊那芸文協

伊那芸文協 会報 第6号  
2013年4月  
発行 NPO法人 伊那芸術文化協会  
〒396-0025 長野県伊那市荒井3500-1  
いなっせビル5階団体事務室B  
TEL/FAX 0265-78-6106  
http://www1.ocn.ne.jp/~geibun  
Eメール: geibun-iaca@chic.ocn.ne.jp



伊那芸術文化協会会報「伊那芸文協」第6号を発行いたしました。  
今回は、平成24年度後半の催しのご報告をさせていただきます。

## 第九回伊那市民芸術文化祭

昨年、十二月一日(土)・二日(日)に第九回伊那市民芸術文化祭が伊那市生涯学習センターで開催されました。

今回は、舞台部門に、日本舞踊・フラメンコ・クラシックバレエ・マンドリンオーケストラ・ダンス・大正琴アンサンブル・キッズダンスの十八団体、展示部門に書・カリグラフィー・絵画・水墨画・和紙ちぎり絵・水彩画・油彩画・写真・いけばな・オープン粘土・ピースステッチ・ピースクロック・シェ・テグスピース・ピース織り・ステンドグラス・ネイルチップ・パッチワークキルトの二十一団体・個人の参加がありました。初参加の方もおり、日頃の活動の成果を発表されました。

また、毎回好評の文化体験コーナーでは、煎茶・抹茶・いけばなが行われ、大変好評でした。今回も多くの方にお越しいただき、盛大に行うことができました。来年度は伊那市生涯学習センターの開館十周年にあたり、伊那市民芸術文化祭も十回目を迎えますので、より充実した内容となるようにしたいと思います。初参加をお待ちしております。

第9回伊那市民芸術文化祭



平成二十四年度後期  
芸術文化体験教室

昨年十二月から今年二月まで、平成二十四年度後期芸術文化体験教室が行われました。

今回は、イタリア料理実践編、飾り巻き寿司(午前)・(午後)、パン教室、コーヒー講座、茶の湯(表千家)、刻字、楽しい英語、トラベルイングリッシュ、パソコン基礎Aコース・Bコース、楽しい！リンパセラピー、ピラティス、大人のバレエ、ベリダンズの全十三講座が開講し、全三回八回の日程で行われました。

今回初めて企画した講座は、パン教室・茶の湯(表千家)・楽しい！リンパセラピーの三講座です。ここ最近、特に二十代の受講生が少ない傾向にあったため、若い方に人気のある講座をいくつか取り入れました。パン教室は二十代の受講者が多く、ある程度の効果はありましたが、全体的にはあまり変わりませんでしたので、引き続き同様の講座を取り入れていこうと考えております。



## 第8回伊那谷伝統文化公演 番外編

2月3日（日）に第8回伊那谷伝統文化公演 番外編が伊那市生涯学習センターホールで開催されました。今回は、狂言/能楽&コンテンポラリーとの融合ということで、現代狂言、現代舞踊を取り入れた能楽という構成で源氏物語の「葵上」を中心に行い、若年層にも興味を持っていただける内容としました。出演は各分野の第一線で活躍しているプロ集団「独騎（いっき）の会」でした。出演者8名による迫力のある演技に多くの観客が魅了されたことと思います。



## 第25回長野県芸術文化総合フェスティバル

3月7日（木）から10日（日）まで、長野県伊那文化会館で第25回長野県芸術文化総合フェスティバルが開催されました。この催しは長野・松本・伊那の3会場で開催されます。伊那会場は上伊那を中心に活動する芸術文化団体が日頃の活動の成果を発表する年に1度の大舞台です。今回は長野県芸術文化協会の創立40周年記念のため、特別に入場無料で開催されました。また、17日（日）に開催されたホクト文化ホールでの長野会場の舞台発表へも伊那芸文協から3団体が特別出演しました。例年以上の盛り上がりとなりました。

### 大ホール

3月9日（土）10:00～ 木村流大正琴、長野県三曲協会、日本詩吟学院長野県連合会、河藤流 右女順会、藤華流 藤乃会、伊駒流 竹扇会、桂会、扇秀流 扇秀会

3月10日（日）11:30～ 三沢カルチャーセンター、ハレオ フラメンコ、伊東由香バレエスクール、ベリーダンス・レイアリナ、白鳥バレエ学園 伊那教室、Beach House INA Studio、ファンキーキッズ、Beach House ビーチシャッフル

### ホワイエ（小ホール）

3月9日（土）・10日（日）10:00～17:00 華道展＜長野県華道教育会＞

### 小ホール

3月9日（土）・10日（日）10:00～17:00 華道展＜伊那市華道会＞ 洋画展＜碓井伍一＞  
お茶席体験＜方円流 煎茶 / 表千家 抹茶＞

### 美術展示ホール

3月7日（木）～10日（日）9:30～17:00（11日は16:00まで） 水墨画展＜長野県水墨画協会南信支部＞  
写真展＜長野県写真連盟＞ 洋画展＜信州美術会＞

## 第25回長野県芸術文化総合フェスティバル



## 煎茶道方円流

公益財団法人煎茶道方円流 長野県支部 伊那芸文協担当 北原 悦子

煎茶文化は、江戸時代中期（今から約350年前）に中国黄檗宗の高僧隠元禅師と多くの人々の来朝により日本にもたらされました。サロン風の明るい語らいの中から生まれた風雅な煎茶文化は、人々をすずやかな世界に引き寄せ、心を豊かにさせ、日本の文人たちの心をとらえ、たちまち広まりました。

昭和31年に結成された全日本煎茶道連盟。本部は京都府宇治市黄檗山萬福寺にあり現在39流が加入。当流初世家元水口豊園は、「水は方円の器に随う」を心に方円流と命名。連盟結成当初より加盟し、京都に家元があり、全国8部会28支部、本部事務局、海外事業部とで構成され、平成23年4月、公益財団法人煎茶道方円流として認可を受け活動しております。

昭和43年、唐澤温園支部長（伊那市西町）が師範として京都家元より持ち帰った方円流の一粒の種は、昭和50年長野県支部として結成され、現在38年目をむかえております。昭和60年には、支部長の呼び掛けにより長野県煎茶道連盟も結成され、現在6流派が加入。県民芸術祭参加の茶会を開催し各流相互の交流を深めております。支部としては、県下縦断茶会、各地区文化祭等協賛茶席、ボランティア茶会、伝統文化教室、学校クラブ等の活動を年間多数行い、会員間の交流と共に、煎茶道の愉しさと豊かさを会員以外の方々にお伝えし、広く地域に根付いた活動となるよう努めております。

玉露・煎茶・番茶・紅茶・烏龍茶の茶葉を使い、急須を使ってお茶をいれます。湯加減、湯量、茶葉の量、種類、水質、間合いに心を配りながら、お茶の量、水色共に平等になるように、最後の一滴まで心をこめて大切に注ぎ分けます。桜・菊・蘭・しそと季節の香りをお茶にする香煎手前。各々の手前・所作は衛生的で合理的をモットーに、手前作法という数多くの不自由の中から真の自由を求め、個性をみつけられるよう人間性の豊かさを育てゆこうと励んでおります。

昨年、市内の小学校でクラブ活動として煎茶道を取り入れていただきました。毎回クラブ児童の皆さんの瞳はキラキラと輝き、真剣に新鮮に取り組んでもらい、最終回を迎えた折の感想の中に、『お茶は普通の飲み物と違いました。心をいやす飲み物だという事がわかりました。』『心配ごとのある時も寒い時も、お茶を飲むと心温まりとてもいい気分になりました。』『気持ちを込めて入れたお茶はおいしいです。』『お茶の香りはいつまでも心に残っていると思いました。心をおちつかせてくれる香りです。』当代二世家元は、「お茶は喉のかわきをいやす為ではなく、心のかわきをいやすのです」と申します。その事を具体的な言葉で伝えなかった中で感じとってくれた子ども達。その豊かなのびのびとした感性に驚き、今後の活動に元気と勇気もらいました。

「淡楽雅遊」

季節を感じ、天地いっばいを茶席とし、音楽を聴きながら詩歌を作りながら喫茶する先人の本当の心の豊かさを知る煎茶道。無心に手前に向う一時。主客共に相手を思い、和やかな場を共有する喜びの一時。日本の伝統文化に親しみ触れる幸せと、五感で味わうこの時を、1人でも多くの方々にお伝えしたいと思うこの頃です。